

○別表2 アカデミック・リーダー育成プログラム 科目概要

高等教育基礎 (必修 14 時間)				
科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
高等教育論	大学教育改革のトレンドと日本が目指すべき 21 世紀の学士課程教育像 (動画)	小笠原正明 (北海道大学・名誉教授)	2.0	我が国の大学教育は現在、急速な改革の中にあります。マス化・ユニバーサル化やグローバル化・知識社会化が、教育内容・方法の質的変容を迫っているからです。本セミナーでは、国内外における大学教育改革のトレンドを踏まえつつ、特に 21 世紀日本が目指すべき学士課程教育のあり方について論じます。
	世界における高等教育の質保証の到達点と課題	深堀 聡子 (国立教育政策研究所・高等教育研究部長)	2.0	2000 年代以降、世界的に高等教育質保証の制度化や実践の多様化が急速に進みましたが、それは国家的枠組みにとどまらず、近年では欧州やアジア太平洋地域等では地域の枠組みも発達してきています。特に欧州のチューニングでは専門分野別に学習成果 (コンピテンス) に基づく質保証の実践が展開されています。本セミナーでは、そうした到達点と今後の課題について考えます。
専門性開発論	大学教員の役割とキャリア・ステージ (動画) ※選択必修	羽田 貴史 (東北大学・教授)	(2.0)	本セミナーでは、一般に理解されている大学教員像 ―大学のなかで研究や教育活動を担う存在― から理解を更に深めるため、大学教員に求められる資質や役割、キャリアパス、そして大学教員が備える倫理について考えます。
	教学マネジメントのための教職協働	柳澤 康信 (岡山理科大学・学長)	2.0	学長を中心としたガバナンスの必要性が指摘されていますが、日常レベルの教学マネジメントには、執行部や経営層だけでなく、教員や職員の幅広いメンバーによる参画が求められ、とりわけ教職協働の推進が求められています。大学職員に期待される専門的役割も踏まえつつ、教職協働のあり方について考えます。
学生発達論	学生理解と学生発達	岡田 有司 (東北大学・准教授)	2.0	学生は正課内・正課外での諸活動、さらには教職員やピアによる支援活動を通して多様に成長していきますが、近年、学生像が一層多様化し、学生の抱える問題も複雑化しています。こうした状況を総合的に理解し、いかに学生の発達支援に当たればいいのか、教育心理学等の知見を踏まえながら学びます。
	大学生のクリティカルシンキングの育成	楠見 孝 (京都大学・教授)	2.0	クリティカルシンキングは、大きく分けると論理的に考えることとリフレクション (省察) の 2 つがあります。事象を多面的にとらえ、論理的・科学的に正しい情報に基づいて考え、自分の行動について省察することで、次にどうしたらいいかという建設的な思考へと結びつきます。こうした手順を踏んだ思考力を学生に身につけさせるにはどうすればいいのかについて考えます。
教育設計論	大学カリキュラムの構造と編成原理 (動画) ※選択必修	吉田 文 (早稲田大学・教授)	(2.0)	大学のカリキュラムは、多様な学問分野の内的な構造や論理を踏まえつつ、教育の目的・内容・方法が統合的に編成される必要があります。本セミナーでは、日米の大学における一般教育 (教養教育) カリキュラムを事例に、大学カリキュラムの構造と原理について学びます。
	アカデミックリーダーのための インストラクショナルデザイン	鈴木 克明 (熊本大学・教授)	4.0	インストラクショナルデザインとは、学習ニーズの分析とシステムティックな授業の設計を行うことです。本セミナーでは、ワークショップを通して、より良い学習の環境を総合的にデザインすることを目指し、人はいかに学ぶか、学習とは何かという問題の解決の糸口となるであろうインストラクショナルデザインの基礎的知識を学びます。

注1) ※選択必修は、「高等教育基礎」、「教育研究マネジメント」、「高等教育リーダーシップ」のカテゴリーの 4 科目の中から 1 科目を選択する

教育研究マネジメント (必修 14 時間)				
科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
教育学習 マネジメント論	大学における教育と学習の評価	木村 拓也 (九州大学・准教授)	2.0	大学における学習評価の手法として、アセスメントテスト、ルーブリック、ポートフォリオなどが挙げられます。本セミナーでは、これらの評価手法について学ぶとともに現在の活用事例から自学における活用について考えます。
	大学におけるカリキュラム・マネジメント	杉谷 祐美子 (青山学院大学・教授)	2.0	学士課程等における教育の「質保証」が求められるなか、教育目標達成のためのカリキュラムマネジメントの必要性が増えています。本セミナーでは、カリキュラムマネジメントの考え方を概観するとともに、教育目標を実現するために、いかに教育内容や方法を設計し運営していくのか、必要となるマネジメントのあり方について学びます。
	ラーニング・アナリティクスの可能性	緒方 広明 (京都大学・教授)	2.0	ラーニング・アナリティクス (LA) とは、学習活動に関する膨大なデータを収集、分析し、学習者の評価への利用や成績と学習行動との相関関係を明らかにし、学習者の将来の能力予測、課題の発見、教育の改善などを行う手法のことです。本セミナーでは、LAの基礎的知識としての機能と活用について学びます。
インスティ チュショナル・リ サーチ	データ分析・解釈の技法	串本 剛 (東北大学・准教授) 松河 秀哉 (東北大学・講師)	4.0	高等教育をめぐる事象が多様化するなか、教育改善や意思決定に関わる人材には、関連する情報やデータを整理し、できる限り客観的に解釈できる基礎的素養が必要になっています。本セミナーでは、ワークショップを通して、データを分析し解釈するためのベーシックな技法の習得を目指します。
	教学 IR の手法	浅野 茂 (山形大学・教授)	2.0	学生による授業評価をはじめ、学生の生活実態調査、達成度調査、卒業生・雇用者に対する満足度調査など様々な形態での情報・データの収集・分析を行うことができる IR ですが、日本の大学における IR は漸く市民権を得始めたところです。本セミナーでは、特に教学マネジメントや意思決定に資する IR の手法とその有効活用について学びます。
研究マネジ メント論	大学における研究政策と課題	玉井 克哉 (東京大学・教授)	2.0	研究は大学における中核的な活動ですが、近年、急速に変容しています。基礎、応用中心の研究から開発研究や産学連携など新たな研究ニーズが出現し、公共財としての研究から私的材としての性格も強くなっています。多様な社会的需要と大学の使命を調和した研究戦略はどうあるかについて論じます。
	研究評価の手法とマネジメント (動画) ※選択必修	林 隆之 (大学改革支援・学位授与機構・教授)	(2.0)	大学の主要な機能の一つである研究活動には近年、社会から説明責任が強く求められるようになり、その評価のあり方が問われるようになってきました。また、国内外における当該大学の名声に影響を与える研究評価は、機関戦略の点からも重要性を増しています。本セミナーでは、研究評価の手法とそれに基づくマネジメントについて学びます。

注1) ※選択必修は、「高等教育基礎」、「教育研究マネジメント」、「高等教育リーダーシップ」のカテゴリーの4科目の中から1科目を選択する

高等教育リーダーシップ (必修 16 時間)				
科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
高等教育政策論	日本の高等教育政策	羽田 貴史 (東北大学・教授)	2.0	我が国の高等教育は 1990 年代以降、18 歳人口の縮減とグローバル化の進展を背景に多くの課題に直面し続けていますが、実際の高等教育政策は諸課題に対応できているのでしょうか。本セミナーでは、日本の高等教育政策に関する歴史的整理を踏まえつつ、現在の動向と今後の課題を読み解きます。
	世界の高等教育政策 (動画)	杉本 和弘 (東北大学・教授)	2.0	グローバル化が進行するなか、世界の高等教育には、質保証や市場化といった共通課題に向けた取り組みが求められています。本セミナーでは、欧州、米英豪、アジア太平洋の主要な国・地域で展開されている高等教育政策を概観し、21 世紀高等教育の方向性を考えます。
大学ガバナンス論	私立大学のガバナンス ～事例にみるその多様性と可能性～	大森 昭生 (共愛学園前橋国際大学・学長)	2.0	18 歳人口の減少を背景に日本全体で 4 割強の私立大学が定員割れを起こすなか、私立大学の統合を含めた議論も展開されるようになりました。特に地方所在の中小の私立大学の経営が厳しさを増すなか、ガバナンスの強化・高度化が必要になっています。本セミナーでは、新規の取り組みで全国的に注目を集める私立大学の経験を踏まえ、私立大学ガバナンスの可能性を考えます。
	公立大学のガバナンスと教学改革	清水 一彦 (山梨県立大学・学長)	2.0	少子高齢化の中で地方創生が政策課題となり、地方貢献を使命に掲げる大学は、とりわけ地域ニーズに資する教育研究、産学協同を進めることが期待されています。特に地方公共団体との関係を前提に大学運営を行う公立大学のガバナンス及び教学改革は特有の難しさを抱えていると言えます。本セミナーでは、私立大学からの移管も進む、公立大学に求められるガバナンスと教学改革のあり方を学びます。
	国立大学のガバナンスとリーダーシップ	吉武 博通 (筑波大学・教授)	2.0	政府財源が逼迫する中、国立大学は法人化以降、機関運営の効率化が要請されるようになり、経営・教学の両面で戦略的かつ効果的なガバナンスが必要になっています。さらに、学長によるリーダーシップが発揮できる体制の整備も求められています。本セミナーでは、国立大学においていかなるガバナンスとリーダーシップが必要なのかについて考えます。
組織開発論	組織のパフォーマンスを向上させる マネジメント	藤本 雅彦 (東北大学・教授)	4.0	組織のパフォーマンスを高めるためには有効な組織マネジメントが欠かせません。組織は人間が結びついて目的を達成するためのものであり、ビジョンを共有し、同じ目標のもとで分担しながら活動するために、動機づけや信頼感、相互コミュニケーションなど重要な手法があります。本セミナーはワークショップ形式を通して、組織を有機的に機能させるための方策についてさまざまな事例を基に考えます。
	大学の戦略策定と経営	篠田 道夫 (桜美林大学・教授)	2.0	大学を取り巻く環境の厳しさが増すなか、大学運営の高度化が求められています。本セミナーでは、ビジョンや戦略の策定、それに基づく中期目標の策定・実質化などで成果を上げている豊富な大学事例を踏まえ、今後の大学経営のあり方を考えます。
	リーダーシップと意思決定 (動画) ※選択必修	吉武 博通 (筑波大学・教授)	(2.0)	大学を取り巻く環境が厳しさを増すなか、大学を経営・教学の両面でいかに戦略的かつ効果的に運営するかが問われています。重層的な組織構造をもつ大学において、その諸機能を十全に発揮させるにはいかなるリーダーシップと意思決定が必要なのかについて考えます。

注1) ※選択必修は、「高等教育基礎」、「教育研究マネジメント」、「高等教育リーダーシップ」のカテゴリーの 4 科目の中から 1 科目を選択する

フィールドワーク (必修 44 時間)				
科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
国内大学調査			10.0	各受講生の改革課題にとって参考となる取組みを先行的に進めている国内大学を訪問し、フィールドワークを通して実践的に学びます。
海外大学調査			34.0	カナダ・クィーンズ大学に1週間滞在し、セミナー受講や現地調査を行います。各種テーマに関するセミナー・ワークショップを行う午前の部と、クィーンズ大学の各部署や関係者にインタビュー調査等を行う午後の部からなります。

アクションラーニング (必修 50 時間)				
科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
イントロダクション		杉本 和弘 (東北大学・教授)	—	本プログラムの目的、概要、特徴、進め方について説明を行い、受講のレディネスを高めます。
プレゼンテーション /コンサルテーション	プレゼンテーション (5.0*4)	/	20.0	集中セミナーにおいて、各受講者の改革課題とそれに対する取組みについてプレゼンテーションを行い、LAD アドバイザーや受講者全体で議論を行います。
	個人コンサルテーション (2.0*4)	/	8.0	LAD アドバイザーが各受講生に対面でコンサルテーションを行い、改革案の作成・実行について助言・支援します。
課題研究	課題研究 I	/	4.0	各受講生が設定した改革課題について改革案を策定・実行し、その結果の省察を踏まえて実現可能性を段階的に高めていきます。課題研究 I～IVを踏まえ、上記のプレゼンテーション/コンサルテーションが実施されます。
	課題研究 II	/	4.0	
	課題研究 III	/	4.0	
	課題研究 IV	/	10.0	

注2) イントロダクションは時間数をカウントしない

選択必修科目 (再掲) (4 科目から 1 科目を選択 2 時間)					
カテゴリー	科目	セミナー等名称	講師(予定)	時間	概要
高等教育基礎	高等教育論	大学教員の役割とキャリア・ステージ (動画)	羽田 貴史 (東北大学・教授)	2.0	本セミナーでは、一般に理解されている大学教員像 ―大学のなかで研究や教育活動を担う存在― から理解を更に深めるため、大学教員に求められる資質や役割、キャリアパス、そして大学教員が備える倫理について考えます。
	教育設計論	大学カリキュラムの構造と編成原理 (動画)	吉田 文 (早稲田大学・教授)	2.0	大学のカリキュラムは、多様な学問分野の内的な構造や論理を踏まえつつ、教育の目的・内容・方法が統合的に編成される必要があります。本セミナーでは、日米の大学における一般教育(教養教育)カリキュラムを事例に、大学カリキュラムの構造と原理について学びます。
教育研究マネジメント	研究マネジメント論	研究評価の手法とマネジメント (動画)	林 隆之 (大学改革支援・学位授与機構・教授)	2.0	大学の主要な機能の一つである研究活動には近年、社会から説明責任が強く求められるようになり、その評価のあり方が問われるようになっていきます。また、国内外における当該大学の名声に影響を与える研究評価は、機関戦略の点からも重要性を増しています。本セミナーでは、研究評価の手法とそれに基づくマネジメントについて学びます。
高等教育リーダーシップ	組織開発論	リーダーシップと意思決定 (動画)	吉武 博通 (筑波大学・教授)	2.0	大学を取り巻く環境が厳しさを増すなか、大学を経営・教学の両面でいかに戦略的かつ効果的に運営するかが問われています。重層的な組織構造をもつ大学において、その諸機能を十全に発揮させるにはいかなるリーダーシップと意思決定が必要なのかについて考えます。